

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年 12 月

四季の風薫る

健幸で魅力あるまちづくりを目指して

わが国では人口の減少が平成20年から始まっていますが、本市ではそれよりも早く、平成7年の約4.2万人から減少傾向が続いており、現在約3.3万人となっています。そこで平成26年9月から「人口減対策本部」を設置して、独自の取り組みに着手しています。



このような社会情勢を背景に、平成26年11月に少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的として、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための「まち・ひと・しごと創生法」が公布、施行されました。

この法律で、各市町村は区域の実情に応じて、まち・ひと・しごと創生に関する目標、市町村が講ずべき施策に関する基本的方向、施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定めた「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め公表することを求められています。

本市は、平成28年1月1日、誕生から10周年という大きな節目を迎えます。“宇陀はひとつ”という思いのもと、地域の一体感の醸成が図れてきていると実感しております。これを契機にさらに飛躍するために、将来のあるべき姿をしっかりと見据えたうえで市政運営に努めていかなければなりません。そのような中で、地域資源を最大限活用しながら産業振興・雇用創出、観光交流の拡大に努め、地域の活性化や魅力あるまちづくりのためにイノベーションを推進するべく、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策等をまとめた『宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略』をこのたび策定いたしました。

本総合戦略においては、「菓草産業の復興や高原野菜のブランド化等による農林業の再生・活性化」「子育て支援や教育の充実」「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現」「まちづくり協議会を中心とした地域の連携」「小さな拠点の形成によるコンパクトなまちづくり」などを主要施策・事業として位置づけており、それら取り組みを積極的に展開し、自分たちの地域に自信と誇りを持つ魅力あるまちづくりを目指していきたいと考えております。

そのためにも、市民のみなさまをはじめ、産・官・学・地域が一丸となって本総合戦略に取り組んでいただき、PDCAサイクルによる検証結果のもと、随時、必要な見直しを行ってまいります。

最後に、本総合戦略の策定にあたりご尽力いただいた「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」の委員の皆さまをはじめ、ご協力・ご支援いただいた市民の皆さまや関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

平成27年12月

宇陀市長

竹内幹郎

目 次

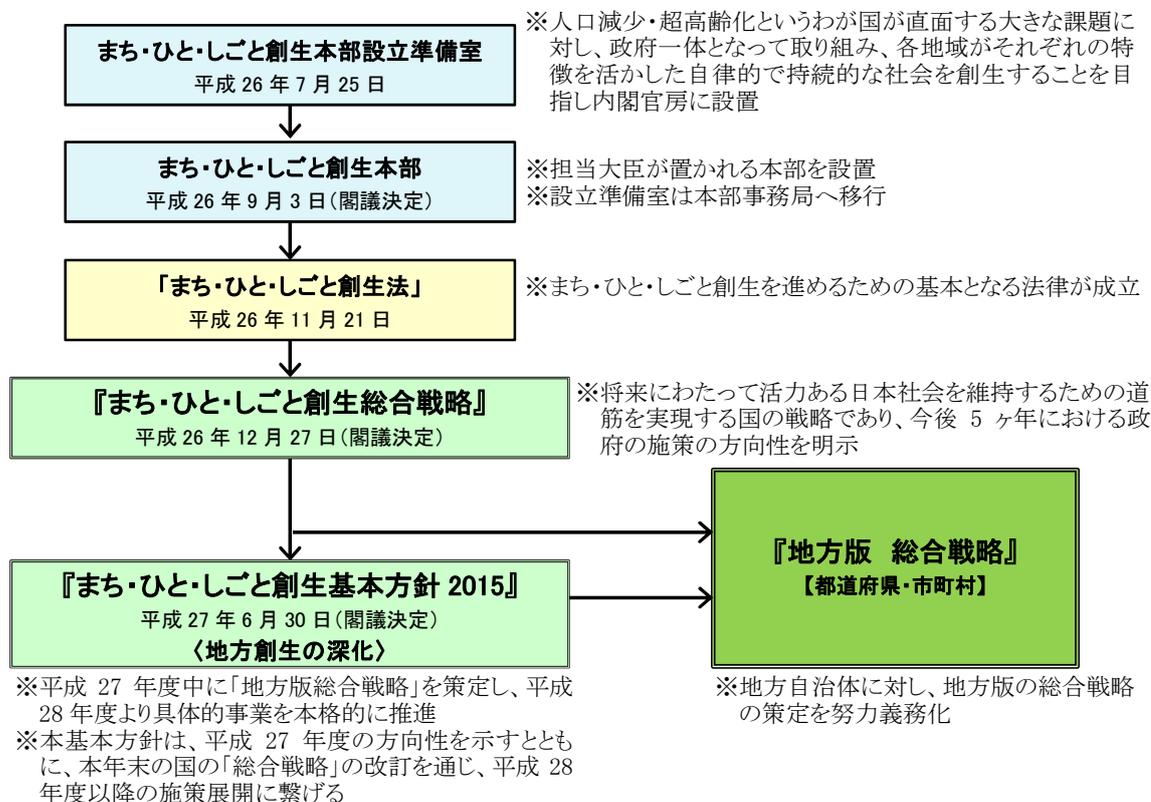
1. 地方創生総合戦略について.....	1
1.1 総合戦略策定の意義.....	1
(1) 国による「まち・ひと・しごと創生」の取り組みについて.....	1
(2) 「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について.....	1
1.2 総合戦略の概要.....	1
1.3 総合戦略の期間.....	1
2. 国の総合戦略について.....	2
2.1 地方創生をめぐる現状認識.....	2
2.2 地方創生の基本方針.....	2
(1) 国と地方の総合戦略策定から事業推進の段階へ.....	3
(2) 「地方創生の深化」を目指すローカル・アベノミクスの実現ー.....	3
(3) 新たな「枠組み」「担い手」「圏域」づくり.....	3
2.3 国の総合戦略における基本目標.....	4
3. 宇陀市総合戦略について.....	5
3.1 本市の各種関連計画（目標、重点政策等）.....	6
3.2 本市の社会潮流動向及び課題と総合戦略における基本目標・政策パッケージ.....	7
3.3 宇陀市総合戦略の基本目標の設定.....	8
3.4 宇陀市総合戦略の政策パッケージの設定及び基本的方向.....	9
3.5 宇陀市総合戦略の施策・取り組み事業の設定.....	11
(1) 宇陀市総合戦略における施策・取り組み事業の検討フロー.....	11
(2) 宇陀市総合戦略.....	12
3.6 客観的な効果検証を実施する仕組みの構築支援.....	27
(1) PDCAサイクル構築の支援.....	27
参考資料 住民アンケートの整理概要.....	28
(1) 「しごと」に関するアンケートの概要.....	28
(2) 「ひと」に関するアンケートの概要.....	30
(3) 「まち」に関するアンケートの概要.....	32

1. 地方創生総合戦略について

1.1 総合戦略策定の意義

(1) 国による「まち・ひと・しごと創生」の取り組みについて

国による「まち・ひと・しごと創生」の取り組みについて、その経緯を以下に概説する。



図ー 1 国の「まち・ひと・しごと創生」取り組みの経緯

(2) 「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

国及び県が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法に基づき、「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「宇陀市総合戦略」という。）を策定する。本市が少子高齢化、過疎化、地域経済の低迷に打ち克つべく、農業をはじめとする産業の振興や健康都市ウェルネスシティを目指した健康づくり活動の促進、結婚・出産・子育て環境の充実等を図り、住みたい・住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを実現する。

1.2 総合戦略の概要

宇陀市総合戦略は、『宇陀市総合計画』をはじめとする各種関連計画等に基づき、人口減少や高齢化問題、地域の課題等の解決に向け、3 つの基本目標を定め、本市の特色や地域資源を活かし住民に身近な施策を立案し事業を進めるものである。

1.3 総合戦略の期間

総合戦略の期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とする。

2. 国の総合戦略について

2.1 地方創生をめぐる現状認識

地方創生は、将来にわたっての「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を図ることを目指している。

平成 27 年 6 月 30 日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015ーローカル・アベノミクスの実現に向けてー（以下、「国の創生基本方針」という。）」では、地方創生をめぐるわが国の現状認識を、以下のように示している。

1. わが国の人口減少の現状
 - ・ 歯止めがかからない人口減少
 - ・ 合計特殊出生率の低下（平成 26 年 1.42）
 - ・ 過去最低の年間出生数（約 100 万人）
2. 東京一極集中の傾向
 - ・ 東京圏への転入超過（平成 26 年 11 万人、前年比 1.3 万人増）
 - ・ 若年層（特に若年女子）が流入
3. 地域経済の現状
 - ・ 地域経済の改善（有効求人倍率、一人当たり賃金、就業者数など雇用・所得面）
 - ・ 大都市圏に比べた消費回復の遅れ
 - ・ 顕在化する人手不足

2.2 地方創生の基本方針

国の創生基本方針では、平成 26 年 12 月 27 日の閣議決定で定められた国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「国の総合戦略」という。）に掲げられた基本的な考え方（「人口減少と地域経済縮小の克服」と「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」）の達成に向けて作成された政策パッケージ・個別施策について、今後の対応の方向を取りまとめたものとして定められた。これは、平成 27 年度における取り組みの方向性を示すとともに、平成 27 年末に見込まれる「総合戦略」の改定を通じて、平成 28 年度以降の施策展開につながるものである。

国の創生基本方針である「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」において新たに示された地方創生の基本方針は、以下のとおりである。

(1) 国と地方の総合戦略策定から事業推進の段階へ

国の創生基本方針では、「国と地方の総合戦略策定から事業推進の段階へ」について、以下のように示している。

- 地方創生は平成 28 年度より具体的な事業を本格的に推進する段階に入る。
- 「国の総合戦略」や「地方版総合戦略」は、単年限りの取組ではなく、中長期的に示すものであり、客観的な指標で各政策の効果を検証し、目標達成に向けて不断に見直していく PDCA サイクルを組み込んでいる。
- 国及び地方公共団体は、具体的な事業の推進とその検証を通じて、各政策を真に効果の高いものとしていくことにより、将来にわたっての「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」という長期的な目標を実現していく必要がある。

(2) 「地方創生の深化」を目指すーローカル・アベノミクスの実現ー

国の創生基本方針では、「地方創生の深化」を目指すーローカル・アベノミクスの実現ー」について、以下のように示している。

- 地域経済に人材と資金を呼び込めるような、生産性の高い、活力に溢れた産業を形成し、若者や女性、働き盛りの世代にとって魅力のある職場を生み出すことによって、ローカル・アベノミクスの浸透を図ることが必要である。
 - ①各地域の「稼ぐ力」の引き出し、②熱意と意欲のある地域へのインセンティブ改革を通じた「地域の総合力」の引き出し、③民間の創意工夫を最大限に活用した「民の知見」の引き出し
- に取り組むことによって、人材と資金が積極的に地方に行き渡り、ひいては高度な技術や情報等が全国津々浦々で共有されるような、活力ある日本経済を取り戻していくことが重要である

(3) 新たな「枠組み」「担い手」「圏域」づくり

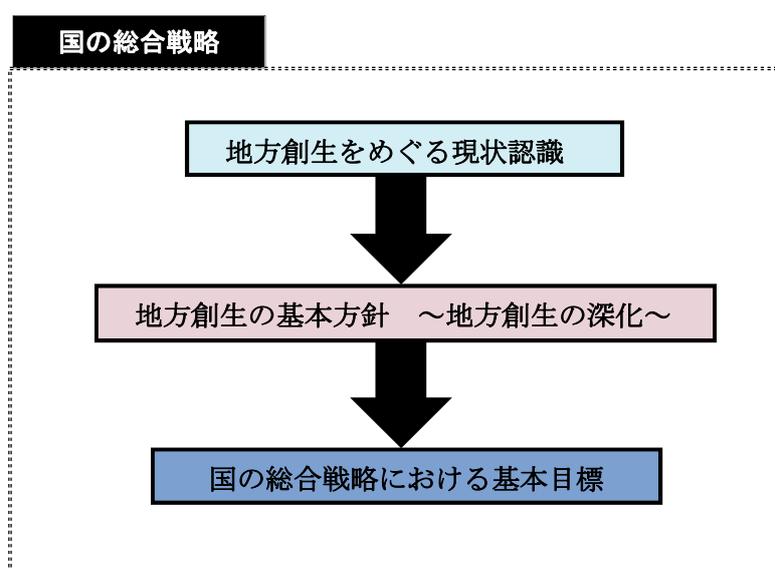
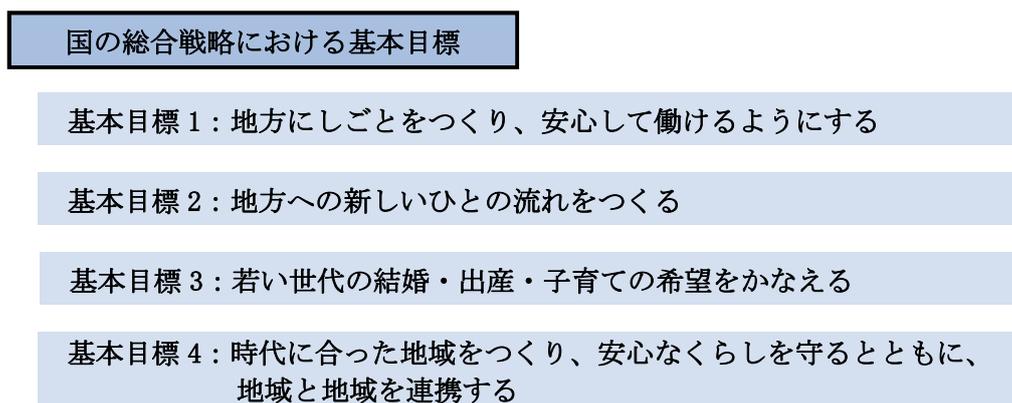
- 地方創生の深化のためには、従来の「縦割り」の事業や取組を超えた、新たな「枠組み」づくり（官民協働及び地域連携）や新たな「担い手」づくり（地方創生の事業推進主体の形成や専門人材の確保・育成）、生活経済実態に即した新たな「圏域」づくり（「広域圏域」から「集落生活圏」まで）が重要となる。
 - ①新たな「枠組み」づくり
 - ②新たな「担い手」づくり
 - ③新たな「圏域」づくり

2.3 国の総合戦略における基本目標

先に示したように、「地方創生の基本方針」は地方創生をめぐる現状認識を明確にしたうえで定められている。その基本方針を受けて政策の「基本目標」を明確に設定し、それに基づき適切な施策を内容とする「政策パッケージ」を提示するとともに、政策の進捗状況について重要業績評価指標（KPI）で検証し、改善する仕組み（PDCA サイクル）を確立するとしている。

こうした観点から、政策の「基本目標」については、日本の人口・経済の中長期展望を示した「長期ビジョン」を踏まえ、総合戦略の目標年次である平成32年において、国として実現すべき成果（アウトカム）を重視した数値目標を設定するとともに、4つの「基本目標」を国レベルで設定し、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少の歯止め、「東京一極集中」の是正を着実に進めていくとしている。

地方創生をさらに深化させるために、国の創生基本方針では、平成26年12月27日の閣議決定で定められた国の総合戦略をベースに、基本目標を以下のように示している。



図－2 国の総合戦略における基本目標設定のフロー図

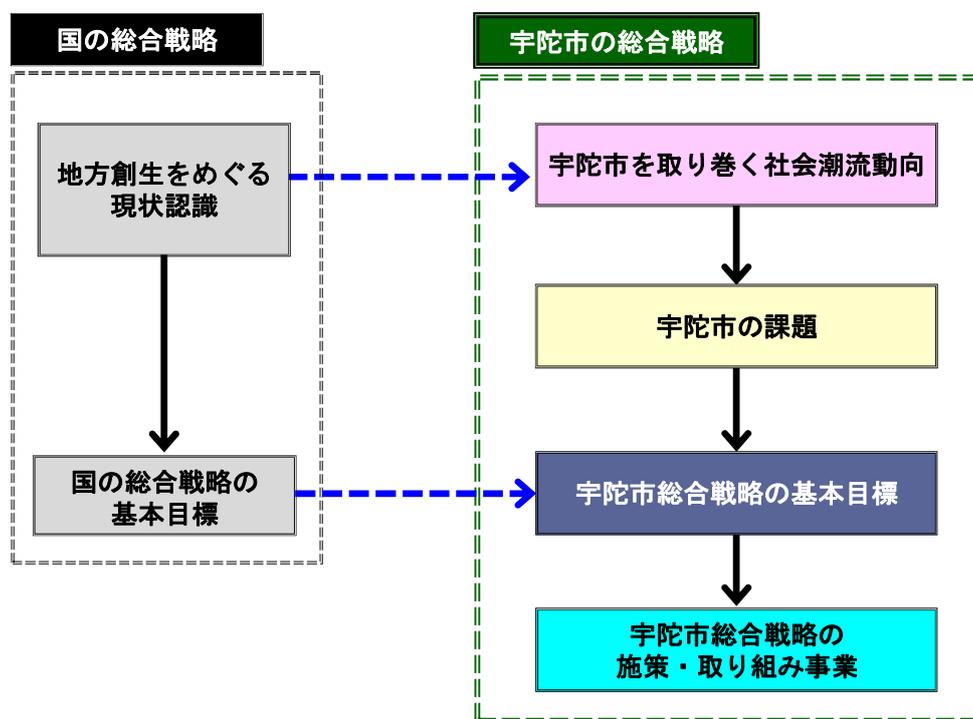
3. 宇陀市総合戦略について

宇陀市総合戦略における基本目標は、先に示した国の総合戦略の基本目標や、宇陀市人口ビジョンを踏まえ、本市を取り巻く社会潮流動向、主な課題を勘案し、設定する。

なお、本市の社会潮流動向及び課題に関する概要については、後頁で示す。

宇陀市総合戦略の政策パッケージは、国の総合戦略で示されている政策パッケージを勘案したうえで、宇陀市総合戦略の基本目標を踏まえて設定する。その際、宇陀市総合計画及び各種関連計画等とも整合が取れるようにする。

宇陀市総合戦略における施策や取り組み事業に関しては、本市の基本目標及び政策パッケージを踏まえ、検討する。



図－ 3 宇陀市総合戦略策定フロー

3.1 本市の各種関連計画（目標、重点政策等）

宇陀市総合計画をはじめとする現行の各種関連計画における目標や重点政策等は、以下に示す一覧のように定められている。

表－ 1 本市の各種関連計画

計画名称	① 宇陀市総合計画後期基本計画	② 健幸都市 “ウェルネスシティ宇陀市”構想	③ 宇陀市 子ども・子育て支援事業計画	④ 宇陀市 地域公共交通網形成計画	⑤ 宇陀市過疎地域自立促進計画	⑥ 第3次 宇陀市行政改革大綱
策定年月	平成 25 年 3 月	平成 26 年 3 月	平成 27 年 3 月	平成 27 年 4 月	平成 22 年 4 月	平成 26 年 12 月
計画期間	平成 25 年度～平成 29 年度	平成 25 年度～平成 29 年度	平成 27 年度～平成 31 年度	平成 27 年度～平成 31 年度	平成 22 年度～平成 27 年度	平成 27 年度～平成 31 年度
将来像、 理念、 目標 等	<p>【将来像】 ～協働と交流で築く めくもりの家～ 『自然と共生し、歴史・文化が育むふれあいと活力あるまち 宇陀市』</p> <p>【基本理念】 1. 持続可能な環境保全のまちづくり 2. 新しい時代の協働のまちづくり 3. 地域力（宇陀力）による「安全・安心」なまちづくり 4. 歴史や文化を活かしたまちづくり</p> <p>【基本目標】 1. 自然と共生した快適に暮らせるまち 2. いきいきと健やかな安らぎのあるまち 3. 安全・安心でうるおいのある定住のまち 4. 一人ひとりが輝き個性・創造を育むまち 5. 地域資源を活かした産業・交流振興のまち 6. みんなで創る協働と参画のまち</p>	<p>【構想の目標】 健康寿命の延伸</p> <p>【大切にしたい考え方】 1. 健幸づくりはまちづくり 2. 生活の中で歩く 3. 市民総参加で取り組む健康づくり</p> <p>【施策の柱】 1. 病気の予防と健康づくり 2. 子どもたちの体力向上 3. 介護予防と生きがいづくりの推進 4. 歩きたくなる環境づくり、仕事が続けられる環境づくり 5. ともに支え合う地域づくり 6. 地域包括ケアシステムの構築</p>	<p>【基本理念】 子どもたちの笑顔あふれる 子育てのしやすいまち 宇陀市</p> <p>【基本的な視点】 (1) 子どもの視点 (2) 次代を担う子どもを応援する視点 (3) 家庭を支援する視点 (4) 地域社会全体での支援の視点 (5) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現の視点 (6) 包括的な次世代育成支援の枠組みの構築の視点</p> <p>【施策目標】 (1) 子どもが心身共に健やかに成長するための支援 (2) 子どもの安全確保 (3) 子どもの人権尊重と権利意識の推進 (4) 子育てを支援する生活環境づくり (5) 子育てと仕事の両立（ワーク・ライフ・バランス）の支援 (6) 地域における子育ての支援</p>	<p>【基本理念】 市民総参加（宇陀力）による健康・観光・交通まちづくり</p> <p>【基本方針】 1. 「健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市」実現を目指すまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化 2. 市域全体をカバーする地域公共交通ネットワークの形成 3. 地域特性に応じた多様な交通手段による持続可能な地域公共交通の再編 4. 地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通の育成</p>	<p>【将来像】 ～協働と交流で築く めくもりの家～ 『自然と共生し、歴史・文化が育むふれあいと活力あるまち 宇陀市』</p> <p>【基本理念】 1. 持続可能な環境保全のまちづくり 2. 新しい時代の協働のまちづくり 3. 地域力（宇陀力）による「安全・安心」なまちづくり 4. 歴史や文化を活かしたまちづくり</p>	<p>【基本目標】 「宇陀市の将来への礎の構築に向けて」</p> <p>【重点対策】 「人口対策本部」を設置し、人口減対策に取り組む。</p> <p>【基本方針】 ①まちづくりと人づくりの改革 ②時代に即応した組織体制の確立 ③持続可能な財政運営</p>
その他	<p>【重点政策】 I 産業振興 (農業の先進地、6次産業化、観光拠点づくり、(仮称)宇陀市〇〇王国構想「産業振興を推進するための組織」) II ウェルネスシティ (健康増進、生きがいづくり、医療充実) III 定住促進 (都市と農村の交流、住環境の整備) IV 市民協働 (地域の活性化、地域力向上)</p>	<p>【ウェルネスシティを推進する3つのツール】 (1) ラジオ体操の普及 (2) 健康ポイント (3) 毎月のウェルネスポイント</p>			<p>【自立促進施策区分】 1. 産業の振興 2. 交通通信体系の整備・情報化及び地域間交流の促進 3. 生活環境の整備 4. 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 5. 医療の確保 6. 教育の振興 7. 地域文化の振興等 8. 集落の整備 9. その他地域の自立促進に関し必要な事項</p>	

3.2 本市の社会潮流動向及び課題と総合戦略における基本目標・政策パッケージ

社会潮流動向及び課題と、宇陀市総合戦略における基本目標と政策パッケージの関連は以下のとおりである。



図－4 宇陀市総合戦略における基本目標と政策パッケージ

3.3 宇陀市総合戦略の基本目標の設定

国の総合戦略では長期ビジョンを踏まえ、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、地方における「しごと」づくり及び移住の促進や地元での就職率向上に着手し、地方への新しい「ひと」の流れをつくとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻そうとしている。

また、宇陀市人口ビジョンの将来推計結果においても、少子高齢化とともに人口の減少（社会減、自然減）が進み、高齢化が加速する一方で同時に生産年齢人口も減少することが示されている。人口の減少に歯止めをかけるため、宇陀市人口ビジョンでは本市が目指すべき将来の方向性を以下のように設定している。

<宇陀市人口ビジョンにおける本市が目指すべき方向性>

- ・子どもを産み育てるための課題を解決するには期間を要するため、早期に結婚、出産子育て環境の改善を図る
- ・社会増減は人口増減への影響が短期的にも効果があるため、転出者の「本市に戻りたい」意向、転入者の「本市に永住したい」意向に対する対応を早期に図るとともに、更に生産年齢人口の世代の転出減少、転入増加のための施策を講じる必要がある

前頁で示している本市を取り巻く社会潮流動向や主な課題がある中で、国の総合戦略や宇陀市人口ビジョンを踏まえて、宇陀市総合戦略では「地域資源を活かして育てるまちづくり」（しごと）、「暮らしやすく交流が盛んなまちづくり」（ひと）、「地域が連携した安心・安全なまちづくり」（まち）の3つを基本目標として設定する。

以下に、国の総合戦略と宇陀市総合戦略の基本目標を示す。

表－ 2 国の総合戦略と宇陀市総合戦略の基本目標

基本目標			
国の総合戦略		宇陀市総合戦略	
①	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	I	しごと：地域資源を活かして育てるまちづくり
②	地方への新しいひとの流れをつくる	II	ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり
③	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
④	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	III	まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり

3.4 宇陀市総合戦略の政策パッケージの設定及び基本的方向

宇陀市総合戦略の政策パッケージは、国の総合戦略で示されている政策パッケージを勘案したうえで、先に示した宇陀市総合戦略の基本目標を踏まえ、かつ宇陀市総合計画及び各種関連計画等とも整合のとれた政策パッケージを設定する。

以下に、国の総合戦略と宇陀市総合戦略の政策パッケージを示す。

表－ 3 国の総合戦略と宇陀市総合戦略の基本目標と政策パッケージ

基本目標及び政策パッケージ	
国の総合戦略	宇陀市総合戦略
【基本目標 1】 地方にしごとづくり安心して働けるようにする 【政策パッケージ】 【1】生産性の高い、活力に溢れた地域経済実現に向けた総合的取組 【2】観光業を強化する地域における連携体制の構築 【3】農林水産業の成長産業化 【4】「プロフェッショナル人材」の確保等	【基本目標Ⅰ】 しごと：地域資源を活かし育てるまちづくり 【政策パッケージ】 1. 基幹産業である農林業の再生・活性化 2. 地域資源を活かした観光戦略 3. 地場産業等への支援による仕事づくり
【基本目標 2】 地方への新しいひとの流れをつくる 【政策パッケージ】 【1】地方移住の支援 【2】「日本版 CCRC」構想の推進 【3】企業の地方拠点強化等 【4】政府関係機関の地方移転 【5】地方大学等の活性化	【基本目標Ⅱ】 ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり 【政策パッケージ】 1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実
【基本目標 3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 【政策パッケージ】 【1】少子化対策における「地域アプローチ」の推進 【2】出産・子育て支援 【3】働き方改革	
【基本目標 4】 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する 【政策パッケージ】 【1】まちづくり・地域連携 【2】「小さな拠点」の形成（集落生活圏の維持） 【3】地域医療介護提供体制の整備等 【4】東京圏の医療・介護問題・少子化問題への対応	【基本目標Ⅲ】 まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり 【政策パッケージ】 1. 地域連携の強化 2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現 3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

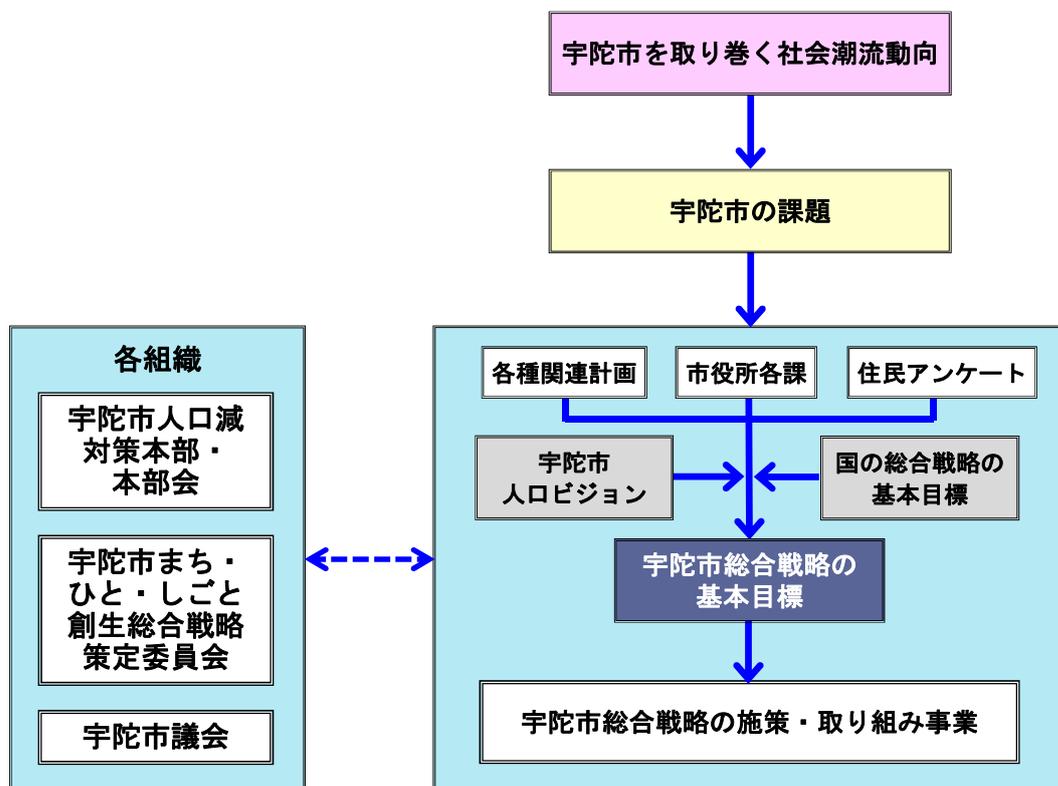
表－４ 宇陀市総合戦略の基本的方向

基本 目標	宇陀市総合戦略の 政策パッケージ	基本的方向
I	1. 基幹産業である農林業の再生・活性化	<p>1400年の伝統を受け継ぐ菓草産業の復興を目指すとともに、高原野菜のブランド化及び認定を促進し、基幹産業である農林業の取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■菓草の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等を総合的にを行い、『菓草発祥の地宇陀』から全国に菓草の魅力の発信を行う。 ■高原野菜等のブランド化を促進するとともに、6次産業化により、地域ブランド商品の開発を図る。 ■林業の持続的で健全な発展のために、宇陀産材の需要拡大を図る。
	2. 地域資源を活かした観光戦略	<p>自然、歴史、文化、景観など、宇陀市が全国に誇る豊かな地域資源を積極的に活用し、近隣自治体との広域連携をはじめとする観光戦略により、来訪者の増加を図り交流を活発にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■宇陀市への関心や興味を持ってもらえるよう、地域の魅力を発信するとともに、様々なイベントの開催や受け入れ態勢を整える。 ■スポーツツーリズムのより一層の普及により、宇陀市民だけではなく、広く市外からの来訪者との交流を深める。
	3. 地場産業等への支援による仕事づくり	<p>宇陀市が全国に誇る伝統産業・地場産業が将来へ継承できるように、新しくチャレンジする事業への支援・産業情報や特産品の積極的なPRを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産・官・学の連携及び大手と中小の企業の連携等により、『ひと・もの・かね』が循環するネットワークを構築することで、宇陀市の地場産業や新しい事業の展開を目指す。
II	1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化	<p>宇陀市への移住・定住を促進するために、ICT等を積極的に活用して、宇陀市の魅力発信に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市外からの転入を増やすだけでなく、市民の転出を食い止めるために、各種情報の発信や定住支援を行う。
	2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	<p>宇陀市民が安心して結婚・出産・子育てを行えるように、切れ目のない支援制度の充実や環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■同窓会やイベントの開催により、出合いやきっかけづくりなどの結婚支援のサポートを図る。 ■妊娠から出産・子育てまで支援制度の充実を図る。 ■子育てに対する個別の支援だけでなく、地域全体で支援する体制を整える。
	3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実	<p>子どもたちの笑顔がいつもあふれている宇陀市をつくるために、子どもの成長を支える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■幼児期の教育環境を整えることにより、子どもの能力を向上させ、心身ともに健やかな成長を支援する。 ■就学前・小学校・中学校の連携を充実させ、『生きる力を育む教育』の充実や『豊かな地域教育力』の構築を図る。 ■子どもたちの市・地域への郷土愛の醸成を図りながら、次世代を担う子どもの育成を目指す。
III	1. 地域連携の強化	<p>まちづくり協議会を中心に、地域の連携と地域の課題解決を図り、市民が主役の地域づくり・まちづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域全体で身近な支え合いを行うことで、市民の健康で安心した生活に繋げる。 ■医療介護・防災への対応力を高めるため、宇陀市とその周辺地域との連携を強化できるように支援する。
	2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現	<p>市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民一人ひとりが楽しみながら、日常的に運動に取り組めるような仕組みを充実させる。 ■地域の人々が健康イベントで顔を合わすことで、人のつながりを強化するとともに、健康増進意識の向上を目指す。 ■高齢となって介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「すまい」が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指す。
	3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現	<p>市街地や地域の拠点をネット（網状）で結ぶことで、各地域の中心地及び市街地周辺へのアクセスを向上させ、市民生活に身近な商店街や公共施設、快適な住環境が整ったコンパクトなまちづくりの実現を目指す。</p> <p>また、地域住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な地域公共交通を育てることによって、地域間の連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コンパクトなまちづくりに向けて、県と市が連携協定を締結の上、協働でプロジェクトを実施し、駅前へのアクセスや利便性を向上させるとともに、都市機能を充実させる各種施設を整備し、多くの人々が集まれるようにする。 ■地域資源を活用して市外からの来訪者を受け入れるだけでなく、地域住民の生活が向上するようなまちづくりを行う。 ■公共交通が生活に密着し、より利用しやすいものとなるように、地域住民・交通事業者・行政が一体となって検討する。

3.5 宇陀市総合戦略の施策・取り組み事業の設定

(1) 宇陀市総合戦略における施策・取り組み事業の検討フロー

宇陀市総合戦略における施策・取り組み事業は、国の総合戦略を参考にした宇陀市総合戦略（3つの基本目標及び政策パッケージ）をベースとし、先に示した本市を取り巻く社会潮流動向に対する本市の課題を踏まえて、各組織で検討のうえ、決定する。



図－5 宇陀市総合戦略における施策・取り組み事業の検討フロー

注：計画期間である5年間で区切ることができない主要施策やハード整備に関する主要施策は、総合戦略の趣旨に合致しないため活用しない。

(2) 宇陀市総合戦略

キャッチフレーズ：四季の風薫る 健幸で魅力あるまちづくりを目指して

しごと 地域資源を活かし育てるまちづくり 基本目標Ⅰ

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化
2. 地域資源を活かした観光戦略
3. 地場産業等への支援による仕事づくり

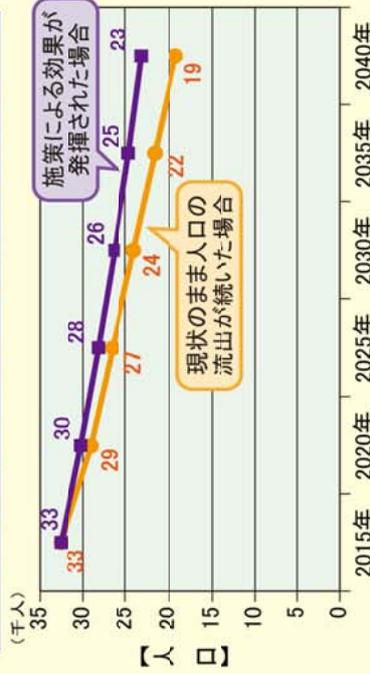


ひと 暮らしやすく交流が盛んなまちづくり 基本目標Ⅱ

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化
2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実
3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実



2040年に人口23,000人を目指す



1. 地域連携の強化

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

まち 地域が連携した安心・安全なまちづくり 基本目標Ⅲ



基本目標Ⅰ しごと：地域資源を活かし育てるまちづくり

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信
薬草プロジェクト事業



大和トウキ



「推古天皇薬猟壁画」 星薬科大学所蔵

②高原野菜等のブランド化
特産品等認定開発補助事業



機能性表示支援事業

有害鳥獣対策の強化

③宇陀産材の普及及び
 森林の保全

木材出荷促進事業



宇陀市産木材利用促進事業

2. 地域資源を活かした観光戦略

①四季折々の自然をはじめとする宇陀
 の地域資源で観光地の魅力を創造

宿泊事業者誘致事業



観光誘致促進事業 等

② 健幸都市宇陀ならではの
 スポーツツーリズムの推進

還暦野球推進事業



自転車のまちづくり事業 等

③宇陀のおもてなし、農家レストラン・
 農家民宿等の支援

おもてなしのまちづくり

～農家レストラン・農家民宿等支援事業～



宇陀四季彩推進事業

④色彩豊かな宇陀づくり
 かえで植樹推進事業



3. 地場産業等への支援による仕事づくり

①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

企業立地推進事業



商品企画支援事業

宇陀市伝統技術後継者育成事業 等

②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売
 ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業



特産品・名産品PR事業

数値目標

・新規農業就業者:8名 (H26) ⇒ 25名 (H31) ・市内観光客数:122万人 (H26) ⇒ 150万人 (H31)

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

1400年の伝統を受け継ぐ薬草産業の復興を目指すとともに、高原野菜のブランド化及び認定を促進し、基幹産業である農林業の取り組みを強化します。

■薬草の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等を総合的に行い、『薬草発祥の地宇陀』から全国に薬草の魅力の発信を行います。

■高原野菜等のブランド化を促進するとともに、6次産業化により、地域ブランド商品の開発を図ります。

■林業の持続的で健全な発展のために、宇陀産材の需要拡大を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

- ✓薬草を活用した商品開発品目数
- ✓薬草生産者数
- ✓機能性表示件数
- ✓木材搬出量
- ✓有害鳥獣被害額

平成27年基準値

0品目
2人
0件
8,950 m³
11,600千円

平成31年目標値

30品目
100人
10件
17,150 m³
8,120千円

担当課

産業企画課
農林課

具体的な施策①

事業名

薬草プロジェクト事業

1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信

事業概要

- 薬草を活用したまちづくり事業
- ・市の産業として大和トウキをはじめ新たな薬草栽培についての支援を行う
- ・薬草等を活用した6次産業化についての支援及び薬草事業による雇用促進を図る
- ・薬草料理のレシビ開発等をはじめとした、薬草を学ぶための支援を行う
- ・地域ブランド化の推進により地域活性化を図る
- ・地域の生産者や商工業者が連携して、地域の自然的、歴史的、文化的関連性を活かし、地域のイメージとブランド化を結び付け、好循環を生み出すことにより、地域経済の活性化を図る
- ・ゆかりある企業（ロータ製薬等）との連携を図る
- 薬草加工施設支援事業
- ・市内で生産された薬草、農産物の6次産業化を目指すために、加工施設及びレンタル事業所の整備を行う
- 全国薬草シンポジウム事業
- ・「全国薬草シンポジウム」を開催することによって、地域を挙げて薬草ビジネスや取り組みを推進する
- 薬草発祥の地「宇陀」PR事業
- ・1400年前から現在に至るまでの宇陀と薬の関わりを現在の風景を織り交ぜながら空撮によるプロモーションビデオを作成する
- ・薬草壁面のレプリカ作成によるブランド戦略として、壁画を市内に設置し、薬のまちとして全国にアピールしブランド力を築く

具体的な施策②	
事業名	事業概要
特産品等認定開発補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市の農産物等を特産品又は名産品として認定し、地産地消の促進を図る ・市内で生産された農産物等を活用した魅力ある商品開発について補助し、6次産業化を図る
機能性表示支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培を推奨している黒豆・大和トウキ等の機能性を調査・分析することにより、他市の生産物・加工品と差別化を図り、付加価値をつける
有害鳥獣対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設定を行う等で頭数削減及び鳥獣被害に遭いにくい環境の整備強化を図る ・有害鳥獣の個体数を減らすための人材育成を図る

具体的な施策③	
事業名	事業概要
木材出荷促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した新たな経済循環を目指すため、作業道開設等の事業展開を行うことで、雇用創出を図る
宇陀市産木材利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・木材需要の大部分を占める住宅工事において、市内で生産された木材の利用をした者に市内経済の消費喚起を期待できる市内流通商品券を交付する

2. 地域資源を活かした観光戦略

自然、歴史、文化、景観など、宇陀市が全国に誇る豊かな地域資源を積極的に活用し、近隣自治体との広域連携をはじめとする観光戦略により、来訪者の増加を図り交流を活発にします。

■宇陀市への関心や興味を持ってもらえるよう、地域の魅力を発信するとともに、様々なイベントの開催や受け入れ態勢を整えます。

■スポーツツーリズムのより一層の普及により、宇陀市民だけではなく、広く市外からの来訪者との交流を深めます。

重要業績評価指標 (KPI)

- ✓ 宿泊観光客数
- ✓ 新規商品(着地型含む)の造成数
- ✓ 農家レストラン・農家民宿数

平成27年基準値

25,000人
1商品
0件

平成31年目標値

40,000人
20商品
5件

担当課

産業企画課
商工観光課
生涯学習課
まちづくり支援課

具体的な施策①

事業名

宿泊事業者誘致事業

観光誘致促進事業

・昭和55年に建設された「保養センター美榛苑」について、豊富な地域資源や立地条件を活用できる宿泊事業者を誘致し、公設民営から民設民営へと運営形態を移行し、宿泊観光客数の増加を図る

■ 団体旅行誘致促進事業

・市内へ団体観光客誘致の為、市内の宿泊施設および観光施設等を利用した団体旅行を実施する事業者に助成金を交付する

■ 観光誘致事業

・宇陀市の玄関口である近鉄榛原駅前に新たに観光案内所を設置する等で、観光客の利便性の向上やホスピタリティの充実を図る

■ 記紀万葉推進事業

・平成24年は「古事記」編纂1300年、32年は「日本書記」編纂1300年となり、奈良県とも連携をしながら宇陀市では、記紀万葉集を関連づけた事業を展開する

まちなか食べ歩きチケット造成事業

・市内の和菓子や飲食料販売店を募り、食べ歩きマップを作成する

・食の魅力の造成により来訪者を増加させる

具体的な施策②	
事業名	事業概要
還暦野球推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 宇陀市の涼しい気候を活かしたスポーツツーリズムを推進するために、リピート交流人口の増加と町おこしを兼ねて大会を開催し、継続的な経済効果、安定的な交流人口の増加を図る また、企業と連携して取り組みを進めることで、更なるPR効果を図る 還暦野球の開催を通して、還暦野球のまち・健康都市ウエルネスシティの全国的なPRを図る 健康づくり、体カづくりのツールとして、自転車が人気になってきていることや、平成27年度に近畿高等学校自転車競技大会の開催を契機に、『自転車のまちづくり』を目指し、競技看板等の設置を行う 実行委員会を組織し、高等学校競技のみならず、様々なカテゴリーの競技やサイクリング大会の誘致、自転車交通安全教室の開催など、“自転車”のまち・奈良・宇陀”と認知されるよう全国に発信する 自転車のまちづくりとしてのサイクリングロード・サイクルステーションの整備を図る 東部振興の拠点を目指してスポーツ施設等の充実を図り、四季の風薫る宇陀市の中で、スポーツツーリズムの一層の推進を目指す
大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト	

具体的な施策③	
事業名	事業概要
おもてなしのまちづくり ～農家レストラン・農家民宿支援事業～	<ul style="list-style-type: none"> 市内で農家レストラン・農家民宿等に取り組み団体等に対する側面からの支援、農業研修生に対する空き家を活用してもらえようような支援を検討する（初年度活動運転資金補助、空き家・空き店舗等の改修工事補助等） 各団体間で連携した取り組みを推進し、地域間競争力を産み出し、全体のレベルアップを図る 農業・菓草事業における成功事例のメディア・FBを通じて発信し、新たな農家レストラン・農家民宿等の起業者を支援する

具体的な施策④	
事業名	事業概要
かえで植樹推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 約1,200種類、3,000本の世界的にも類のない収量を誇る「奈良カエデの郷ひらら」の認知度向上を目指すとともに、カエデの苗を参加者、施設利用者等に配付し、色彩豊かな宇陀市を目指す
宇陀四季彩推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■観光地における自然環境の保護及び植栽 ■四季折々の花の植栽等を行い、一年を通じた彩り美しい宇陀の観光地を形成するとともに、観光地の自然環境を獣害防護柵等で保護する ■ライトアップ等夜間イベントの拡充 ■既存のライトアップイベント等を拡充し、自然と環境を活かした新たな観光イベントにより、夜間の誘客拡大、宿泊推進を図る ■自然環境や観光地のブランドをいかした着地商品の造成 ■観光地がもつブランド力の向上を目指すし、自然環境を活かした着地商品の造成をおこなう

3. 地場産業等への支援による仕事づくり

宇陀市が全国に誇る伝統産業・地場産業が将来へ継承できるように、新しくチャレンジする事業への支援・産業情報や特産品の積極的なPRを行います。

■産・官・学の連携及び大手と中小の企業の連携等により、『ひと・もの・かね』が循環するネットワークを構築することで、宇陀市の地場産業や新しい事業の展開を目指します。

重要業績評価指標 (KPI)

- ✓ 進出企業数
- ✓ 市内伝統産業後継者数
- ✓ 市内事業所の創業件数
- ✓ ポータルサイト利用事業者数

平成27年基準値

1件
0人
1件
30社

平成31年目標値

5件
12人
5件
60社

担当課

産業企画課
商工観光課

具体的な施策①

事業名

企業立地推進事業

- ・ 企業立地手続きの簡素化、迅速化を図るための窓口一元化及び企業が進出、既存企業が増設しやすい体制を整備し、企業のニーズにあった支援策を検討する
- ・ 企業目的に適合した土地の造成を実施する等、受け入れ環境の整備を図る
- ・ 地域経済循環創造事業を推進し、「あと一歩」で実現できるような地域活性化に資する事業について支援を図る

商品企画支援事業

- ・ 市内の農産物や加工品等を大都市圏の百貨店や大手スーパー等と継続して取引を行っていくため、商品企画やパッケージの開発、様々な相談等により市内事業者を支援し、地域所得の向上を図る

うだチャレンジアシスト補助金事業

- ・ 市内事業者が行う自社製品の販路拡大事業に対し、その経費の一部を補助することで、市産業の活性化を図る

中小企業等施設改修・設備投資補助金

- ・ 施設改修や設備投資に対して補助を行うことで、市産業の活性化を図る

宇陀市伝統技術後継者育成事業

- ・ 奈良県と宇陀市の地場産業に認定されている毛皮革産業や草木染め等をはじめとする伝統産業の後継者を全国また市内より募集し、それぞれの事業者とマッチングさせ支援、産業の安定化、発展及び継承を図る

創業・既存企業等支援ネットワーク事業

- ・ 奈良県立大学・宇陀商工会・市内金融機関（南都銀行・大和信用金庫・JA ならけん）とネットワークを構築するとともに、創業支援計画を策定し、包括的に創業者や既存企業・個人商店等を支援していくとともに、各種セミナーの開催や、宇陀市独自のクラウドファンディング等の支援も検討する

未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

事業概要

具体的な施策②

事業名

ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業

- ・ 国、県、市及びその他の支援機関の産業情報を一元化する情報ポータルサイトを立ち上げる

特産品・名産品PR事業

- ・ 市内の特産品や名産品、観光情報やイベント情報の年間を通してPR、ものづくり体験等を通じて、インターネット販売の促進、販路拡大及び知名度の向上を図り、宇陀市への来訪者を増やすとともに、地域所得の向上、産業の活性化を図る

基本目標Ⅱ ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

① 働きながら住み続けられるまちの推進

空き家・空き店舗等の活用事業



空き家情報バンク事業

定住促進奨励金交付事業



子育て世代定住支援事業 等

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

① 夢を育む教育環境の充実

幼児教育環境充実事業



英語教育推進事業

子どもの夢を育てる「夢教室」事業 等

② 元気な子どもづくりの推進

学校給食地産地消促進事業



うだ子ども元気づくり

プロジェクト事業



平成榛原子供のもり公園
再生プロジェクト事業 等

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

① 婚活支援イベント等の充実

同窓会開催補助事業（アタック25）



結婚支援事業

～宇陀カップリングパーティー～

② 誰もが子どもを産みやすい環境の充実

出産祝い金支給事業



一般不妊治療助成事業

③ 子育て支援の充実

便利な田舎

～宇陀のテレビ事業～



ファミリースポーツセンター事業 等

子どもに育てられる地域づくり
～地域子育てサポート事業～



数値目標

・合計特殊出生率:0.90 (H25) ⇒ 1.40 (H31) ・人口移動(社会減): 約300人/年(H22-H26平均) ⇒ 150人/年(H31)

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

宇陀市への移住・定住を促進するために、ICT等を積極的に活用して、宇陀市の魅力発信に繋がります。

■市外からの転入を増やすだけでなく、市民の転出を食い止めるために、各種情報の発信や定住支援を行います。

重要業績評価指標 (KPI)

- ✓移住相談件数
- ✓空き家バンク登録件数

平成27年基準値

60件
20件

平成31年目標値

120件
60件

担当課

まちづくり支援課
人権推進課

具体的な施策①

事業名

働きながら住み続けられるまちの推進

事業概要

空き家・空き店舗等の活用事業

- ・改修補助金により、空き家・空き店舗等を商業目的での利用に繋げる
- ・起業セミナーの開催や、ICT等の積極的な活用により、空き家・空き店舗等の活用に繋げる

女性のための就業支援事業

- ・生産年齢人口が減少していく中で、意欲のある女性活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保の観点のみならず、経済を活性化させる観点からも不可欠な課題となっている
- そのため、女性の能力を最大限発揮できるよう、地域の実情に合わせた女性の活躍促進に向けた就労支援を行う

空き家情報バンク事業

- ・所有者からの物件情報を市と協定を結んだ宅建業者が確認し、市内外の希望者に市HPを通じて情報発信し、空き家の有効活用を図る
- また、登録者または購入者に対して、家財道具等の処分費補助を行う

定住促進奨励金交付事業

- ・市外からのUJターナーの転入促進と、市民の転出を抑制し定住化を図るとともに、活力ある地域づくりを支援するため、市内での住宅取得者が一定の要件を満たせば定住促進奨励金(市内流通商品券)を交付する

榛原駅周辺若者定住プロジェクト

- ・都市マスタープラン等と連携して、公有地・民有地の有効活用も含めたまちづくりを構想する(例:複合図書館・チャレンジショップ・民間テパロッパややミ二開発等)

子育て世代定住支援事業

- ・子育て世代(18歳までの子どもがいる世帯)の転入転居を支援するため、定住促進奨励金に加えて、18歳以下の子どもがいる世帯に対して奨励金(市内流通商品券)を交付する

宇陀の魅力発信事業

- ・移住・定住の促進に向けて、ICT・メディア等の媒体を積極的に活用し、宇陀の魅力を発信する
- 事業メニュー例:移住者の声を集めた「移住定住PR冊子」の作成等

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担当
<p>宇陀市民が安心して結婚・出産・子育てを行えるように、切れ目のない支援制度の充実や環境の整備を図ります。</p> <p>■同窓会やイベントの開催により、出会いやきかけづくりなどの結婚支援のサポートを図ります。</p> <p>■妊娠から出産・子育てまで支援制度の充実を図ります。</p> <p>■子育てに対する個別の支援だけでなく、地域全体で支援する体制を整えます。</p>	<p>✓出生届け出件数 ✓子育て支援センター利用者数 ✓ファミリーサポート活動件数 ✓一時預かり利用者数</p> <p>144 件 6,700 人 130 件 1,350 人</p>	<p>175 件 7,500 人 250 件 1,500 人</p>	<p>まちづくり支援課 こども未来課 健康増進課</p>

具体的な施策①	事業概要
<p>婚活支援イベント等の充実</p> <p>同窓会開催補助事業（アタック25）</p> <p>結婚支援事業 ～宇陀カッピングパーティー～</p>	<p>・同窓会を通じて故郷宇陀市を再認識し、同世代のネットワークの形成を目指し、再会による出会いの場を創出するために、同窓会の開催に對して補助を行う</p> <p>・結婚支援イベントを開催し、カップルの成立と市内で住む夫婦の増加を目指す</p>

具体的な施策②	事業概要
<p>誰もが子どもを産みやすい環境の充実</p> <p>出産祝い金支給事業</p> <p>一般不妊治療助成事業</p>	<p>・新生児の誕生日を祝い、健やかな成長を願って祝いの品（市内流通商品券）を贈る</p> <p>・一般不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊治療を行っている市民の経済的負担を軽減させる</p>

具体的な施策③	事業概要
<p>便利な田舎 ～宇陀のレシビ事業～</p> <p>三世代ファミリー同居・近居応援事業</p> <p>ファミリーサポートセンター事業</p>	<p>■こんにちは赤ちゃん訪問事業 ・生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭に、助産師もしくは保健師が訪問し、育児や子育て支援についての相談を行う</p> <p>■ファーストバースデー祝い品事業 ・子どもの1歳の誕生日を祝い、絵本を介した親子のふれあい及び幼児期から本に親しむ習慣が生まれるよう絵本を贈る</p> <p>■ベビースhirt貸与事業 ・新生児から6ヶ月未満の乳児を保護擁護している方を対象にベビースhirtを貸与し、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減させる</p> <p>■ひかびか1年生応援事業 ・子育て世帯による教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校入学を迎える家庭に市内流通商品券を贈る</p> <p>■トリプルチルドレン事業 ・多子世帯による子育て・教育支援として、子どもの生活の安定や福祉の増進を図るため、多子世帯家庭に市内流通商品券を贈る</p> <p>・子どもを安心して産み育てられ、また高齢者が安心して暮らせる健康で幸せな住環境を創るために、宇陀市外より親世帯と同居または近居することとした子ども世帯に対し、転入転居費用の一部として市内流通商品券を贈る</p> <p>・育児のしやすい子育て家庭に向け、子育てを地域で相互援助し、安心して子どもを産み育てることができると支援を行う</p>

子どもに育てられる地域づくり～地域子育てサポート事業～	・まちづくり協議会等が中心となり、育児のしやすい地域づくりと地域の子どもに体験事業を通じ地域間の交流と学びの場を提供する
病後児保育事業	・子どもが病気の回復期にあり、保育所等が利用できず、保護者も就労等で保育できない場合の保育を行う
一時預かり事業	・保護者の私用等により一時的に家庭で保育ができない場合、一時的に保育を行う

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実				
	重要業績評価指標 (KPI)	平成27年基準値	平成31年目標値	担当課
<p>子どもたちの笑顔がいつもあふれている宇陀市をつくるために、子どもの成長を支えています。</p> <p>■ 幼児期の教育環境を整えることにより、子どもの能力を向上させ、心身ともに健やかな成長を支援します。</p> <p>■ 就学前・小学校・中学校の連携を充実させ、『生きる力を育む教育』の充実や『豊かな地域教育力』の構築を図ります。</p> <p>■ 子どもたちの市・地域への郷土愛の醸成を図りながら、次世代を担う子どもたちの育成を目指します。</p>	<p>✓ 預かり保育利用者数</p> <p>✓ ALT配置教員数</p> <p>✓ 学校給食地産地消費率(野菜・きのこ類)</p>	<p>5,000人</p> <p>3人</p> <p>10.5%</p>	<p>6,000人</p> <p>5人</p> <p>20.0%</p>	<p>こども未来課</p> <p>教育総務課</p> <p>学校給食センター</p> <p>農林課</p> <p>公園課</p>

夢を育む教育環境の充実	
事業概要	
<p>幼児教育環境充実事業</p> <p>英語教育推進事業</p> <p>子どもの夢を育てる「夢教室」事業</p> <p>学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業</p> <p>学力学習状況調査事業</p> <p>学校・地域パートナーシップ事業</p> <p>中学校・乳幼児ふれあい体験事業</p>	<p>■ ライブリーチーデルレン事業</p> <p>・ 運動用具の整備や音楽用具の整備を行い、それらの活動を行うことで、子どもたちの能力向上を図る</p> <p>■ 預かり保育事業</p> <p>・ 通常の幼稚園教育時間の終了後預かり保育を行う</p> <p>■ 臨床心理士の配置</p> <p>・ 福祉、教育分野での専門的知識をもった心理士を配置し、特別支援児童に対して幼児期からの早期対応に努める</p> <p>■ 幼児教育専門員の派遣</p> <p>・ 宇陀市幼児教育を特色あるものとする為、専門的知識をもった講師を招き、園児及び職員の指導を行い、次世代を担う子どもの育成と幼児教育の質の向上を目指す</p> <p>・ すべての中学校にALTを配置することでさらなる英語教育の充実を目指す</p> <p>・ 各中学校区にALTを配置することで、小学校、幼稚園等との連携がとれ、外国語活動教育の充実、児童、生徒の英語力の向上につなげる</p> <p>・ 現代社会において重要な国際感覚を身につけられる教育環境を整えることにより、子育て世代の宇陀市への移住を促進する</p> <p>・ 「夢の教室」を開催し、夢を持つことの大切さ、なかまと協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える</p> <p>・ 宇陀市内の幼保園・小中学校の教職員を対象に、学力向上の研修会や公開事業の実践等を行うことで、職員一人ひとりの自己肯定感や自信を育み、保育内容や授業改善、教職員の指導力向上、学校・園の教育の充実を図るとともに、ICT等の活用により児童生徒の学力向上を図る</p> <p>・ 小学校5年生・中学校2年生を対象とし、「標準学力調査」を実施し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を目指す</p> <p>・ 「子ども活動支援事業」や「放課後子ども教室」を実施し、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することで、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目指す</p> <p>・ 中学生が生命の誕生や成長について学び、また、乳幼児やその保護者との交流を通して、命の大切さや子どもに対する保護者の思いと子育ての大切さを知ること、自分や周りの人も大切に思うことができ、命の尊さを学ぶ</p>

具体的な施策②	元氣な子どもづくりの推進
事業名 学校給食地産地消促進事業 うだ子ども元気づくりプロジェクト 事業 平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト事業 子どもフェスタ事業	事業概要 ・学校給食での地産地消を促進し、新鮮で美味しい地産産給食を目指して、JAや農産物直売所と連携した仕組みづくりを目指す ・「子どもの体力向上」を目指す、「子ども元氣ダンス」を策定し、市内各こども園等でカリキュラムに取り入れ、子どもの運動能力の向上や音楽リズムの向上を目指す ・「子供のもり活性化協会」を中心に子供のもりの教室等の企画運営について検討をし、より一層の充実を図り市内外からの来場者を増やし宇陀市の魅力を感じてもらおうことを目指す 事業メニュー例①：既存事業の充実（カヌー教室や木工教室等の拡大） 事業メニュー例②：花苗の植栽（四季の花を植えることによる季節の彩りの充実、ハーブ園の充実、ハーブクッキングパーティーの開催） 事業メニュー例③：市民や各種団体との連携（まちづくり協議会の協力、学校などのボランティアを募ることによる事業の推進） ・「子どもフェスタ」を開催し、遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う子どもたちの健全育成に努める

基本目標Ⅲ まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり

1. 地域連携の強化

①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

活力ある地域づくりは、まち協から



高齢者等見守り隊



ウェルネスシニア健康学校



安心・安全なまちづくり事業

①健幸を目指したウェルネスシティの推進

ウェルネスシティ “うだ” 推進事業

1. 病気の予防と健康づくり

2. 子どもたちの体力向上

3. 介護予防と生きがいつくり

4. 歩きたくなる、仕事が続けられる環境づくり

5. ともに支えあう地域づくり

6. 地域包括ケアシステムの構築



宇陀市地域包括ケアシステム推進事業

①小さな拠点づくり

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり

宇陀山周辺地区のまちづくり



うだの古市場地区周辺のまちづくり

室生口大野駅周辺及び

室生寺前地区のまちづくり

②地域公共交通の整備

持続可能な地域公共交通
ネットワーク形成事業

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

数値目標

地域づくり取り組み件数:12件(H26) ⇒ 100件(H31)

・健康寿命県内順位:

男性:22位(H23-H25平均) ⇒ 1位(H31)
女性:28位(平均)

1. 地域連携の強化

まちづくり協議会を中心に、地域の連携と地域の課題解決を図り、市民が主役の地域づくり・まちづくりを目指します。
 ■地域全体で身近な支え合いを行うことで、市民の健康で安心した生活に繋がります。
 ■医療介護・防災への対応力を高めるため、宇陀市とその周辺地域との連携を強化できるように支援します。

重要業績評価指標(KPI)

- ✓高齢者見守り隊登録数
- ✓自主防災組織の結成率
- ✓ウエルネスニア健康学校卒業生

平成27年基準値

13自治会
61.66%
40人

平成31年目標値

100自治会
100%
120人

担当課

健康増進課
介護福祉課
まちづくり支援課
危機管理課

具体的な施策①

事業名

市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

事業概要

活力ある地域づくりは、まち協から時代にあった地域をつくり(まちづくり協議会)を中心に事業展開を行い、地域の連携と地域の課題解決を図るとともに、地域の中での経済循環の仕組みを形成することにより、市民主導でまちの賑わいを生み出すために係る経費の補助補助メニュー例：高齢者居場所づくり、特産品開発、空き家活用、地域の魅力創造 等
 ・平成31年度には地域全域をカバーできるように20団体を目指す
 ・高齢者を対象に、学習、運動、創造の時間となるウエルネスニア学校を開設
 ・高齢者が指導する喜びや学びを感じ、地域サロンやまち協等で匠の技を伝承する等活躍することで、生きがいづくりや仲間づくりに繋げる
 ・ボランティアの育成に努める

高齢者等見守り隊

- ・在宅の高齢者等に対し、声掛け、見守り、安否確認等、身近な支え合いを行う
- ・高齢者等の孤独解消及び安心感提供並びに孤独死防止を図り、高齢者の安心な暮らしを守る

安心・安全なまちづくり事業

- 災害時避難体制整備事業
- ・災害時における避難体制の充実・強化を図るため、自主防災活動への支援及び避難所施設・設備整備を行う
- 避難行動要支援者対策事業
- ・災害対策基本法に規定する避難行動要支援者名簿の整備と情報共有化を行い、地域支援関係者と連携して避難対策の個別計画を策定し、災害時の避難支援体制の充実を図る

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりを推進します。

■市民一人ひとりが楽しみながら、日常的に運動に取り組めるような仕組みを充実します。

■地域の人々が健康イベントで顔を合わすことで、人のつながりを強化するとともに、健康増進意識の向上を目指します。

■高齢となって介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「すまい」が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指します。

重要業績評価指標（KPI）

- ✓ 特定健康診査受診率
- ✓ 介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合
- ✓ 医療介護あんしんセンター認知度
- ✓ 訪問診療認知度

平成27年基準値
24.7%
35.3%
47.8%
67.0%

担当課

平成31年目標値
60%
40%
60%
70%

介護福祉課
医療介護あんしんセンター
健康増進課

具体的な施策①

事業名

ウェルネスシティ“うだ”推進事業

健幸を目指したウェルネスシティの推進

事業概要

- けんこうマイメモリー
 - ・ I T 健康管理システムを活用し、一日の歩数や消費カロリー、活動量を計測することで、運動習慣化を図り、健康寿命の延命を図る
 - ・ 「ケンコウマイ手帳」の使い方を指導する健康指導員に対しても研修を行う等して、地域を指揮して I T 健康管理システムの使い方を説明し、地域の健康管理を先導できるように指導する
- おはようラジオ体操
 - ・ 地域におけるラジオ体操の実施を促進する
 - ・ ラジオ体操をきっかけとして集まること、また地域の人たちと顔を合わせることで、人々との繋がりを強くし、さらに地域の同士での子どもたち・高齢者たちの見守り活動に繋げる
 - ・ ラジオ体操以外にも、筋力アップの運動なども実施する
- 健康ポイント事業
 - ・ ウェルネス事業に参加することで集まるポイントにより記念品と交換できる制度により、受診率向上、健康づくりの講座やウェルネスイベントの参加など積極的な健康づくりの取り組みへの参加促進を図る
- 毎月のウェルネスイベント
 - ・ 春のウェルネスウォーク等のウェルネスシティに関するイベントを毎月開催することにより、ウェルネスシティの事業参加者を増やし、効果を高めいく全般的な啓発を図る
- ウォーキングロード整備事業
 - ・ 健幸都市ウェルネスシティの実現に向けて歩きたくなくなる環境を推進するため、ウォーキングロードを整備する

宇陀市地域包括ケアシステム推進事業

総合相談

- 在宅医療・介護等についての総合相談
 - ・ 保健師・看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが相談対応し、市立病院をはじめ各医療機関や介護関係施設や事業所、行政担当課等と I C T 等の活用により連携し対応する
- 在宅医療・介護の情報把握・発信
 - ・ 医療介護ガイドブックの発行とホームページの掲載等を行い情報発信する
- 認知症対策事業
 - ・ 認知症の進行状況に併せて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいか標準的な方法を示す認知症ケアパスの普及や、認知症の人を地域で支援するサポーターを増やす取り組み（養成講座）ほか認知症についての市民啓発を行う
 - ・ また認知症の相談について、認知症初期集中支援チームをつくり対応する
- 市民への普及啓発
 - ・ 在宅医療・介護・認知症・権利擁護等について広報や講演会、地域ケア会議等で市民に普及啓発する

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

市街地や地域の拠点をネット（網状）で結ぶことで、各地域の中心地及び市街地周辺へのアクセスを向上させ、市民生活に身近な商店街や公共施設、快適な住環境が整ったコンパクトなまちづくりの実現を目指します。

また、地域住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な地域公共交通を育てることによって、地域間の連携を強化します。

■コンパクトなまちづくりに向けて、県と市が連携協定を締結のうえ、協働でプロジェクトを実施し、駅前のアクセスや利便性を向上させるとともに、都市機能を充実させる各種施設を整備し、多くの人々が集まれるようにします。

■地域資源を活用して市外からの来訪者を受け入れるだけでなく、地域住民の生活が向上するようなまちづくりを行います。

■公共交通が生活に密着し、より利用しやすいものとなるように、地域住民・交通事業者・行政が一体となって検討していきます。

重要業績評価指標（KPI）

- ✓ 榛原駅前通り通行者数
- ✓ 重伝建地区（宇陀松山）訪問客数
- ✓ 室生寺周辺訪問客数
- ✓ 「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問者数

平成27年基準値

50人/時
28万人/年
19万人/年
2万人/年

平成31年目標値

100人/時
35万人/年
30万人/年
5万人/年

担当課

まちづくり推進課
各地域事務所
企画課

具体的な施策①

事業名

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり

小さな拠点づくり

目指すべきまちづくりの概要

- ・ 駅周辺にある既存施設等の地域資源を活用しつつ、都市機能を集約し、宇陀市の中心地としてふさわしいまちを目指す
- ・ 宇陀市の中心地として4地域を強力な有機的ネットワークで結び、宇陀市の魅力をさらに広げていく
- ・ 松山城跡周辺の景観や重伝建のまちなみ、薬草、アニマルパークなど、市内有数の観光資源を活用した賑わいがあるまちを目指す
- ・ 地区周辺を散策して記紀万葉の歴史を感じることができ、また、地場産業の伝統技術を活用して産業が活性化された、懐かしさと賑わいのあるまちを目指す

室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり

- ・ 「女人高野」室生寺の賑わいある門前町と室生山上公園で芸術を肌で感じられるまちを目指す
- ・ 室生口大野駅周辺を、賑わいがあり、歩いて楽しく住み続けられる、高齢者にも優しいまちを目指す

具体的な施策②

事業名

持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業

地域公共交通の整備

事業概要

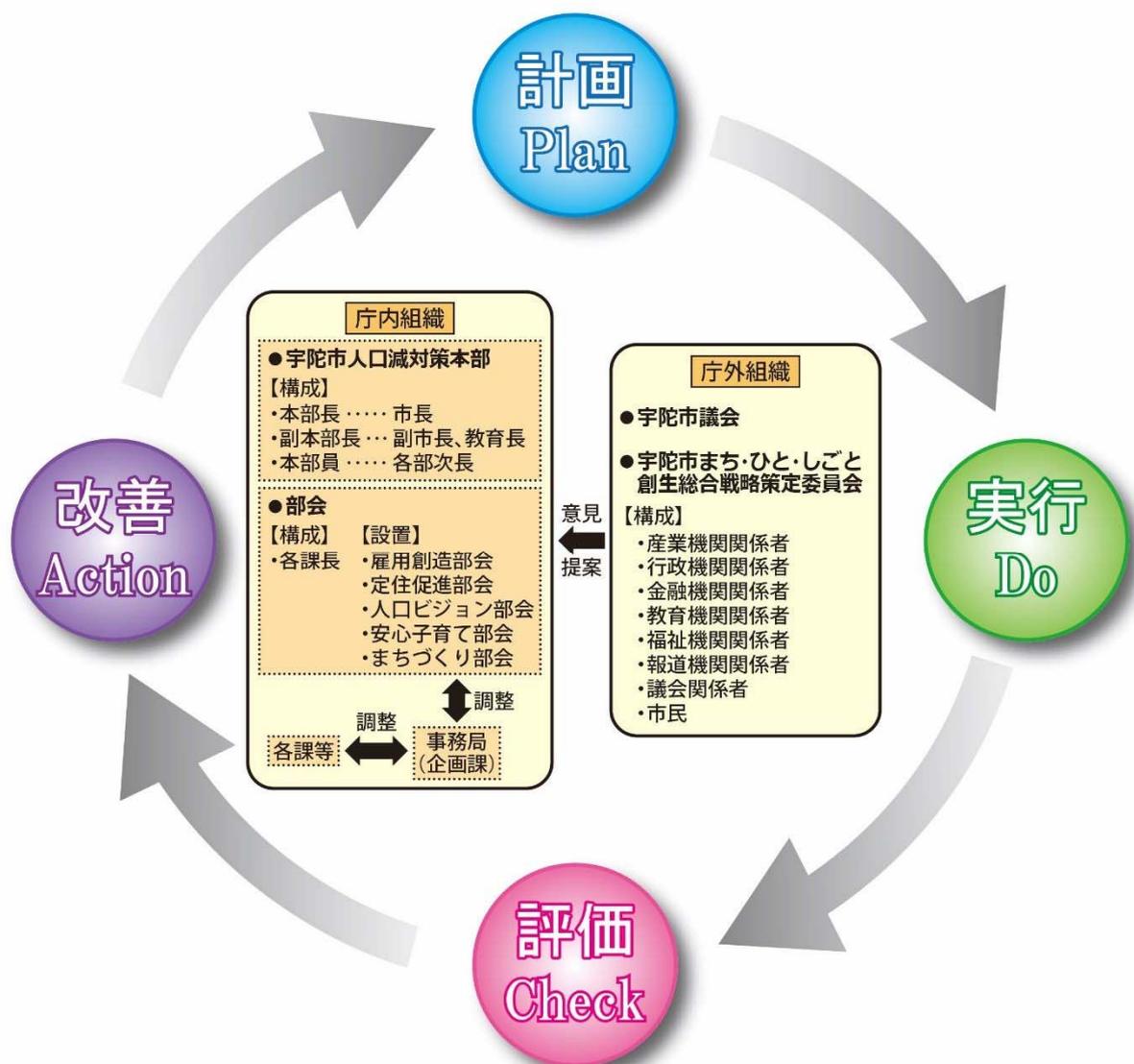
- 「健康都市 ウェルネスシティ宇陀市」実現を目指すまちづくりを支える地域公共交通維持・活性化事業
- ・ 榛原駅周辺の乗り継ぎ拠点としての整備及び道の駅「宇陀路大宇陀」再整備と連携した乗継拠点の整備等を図る
- 市域全体をカバーする地域公共交通ネットワーク形成事業
- ・ 市内の主要拠点施設を中心とする将来地域公共交通網等の検討を図る
- 地域特性に応じた多様な交通手段による持続可能な地域公共交通の再編
- ・ 市営有償バス（大宇陀南部線・榛原大野線）・デマンド型乗合タクシー・公共交通空白地有償バス（らくらくバス）の運行形態の見直し・改善等を図る
- 地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通育成事業
- ・ 沿線住民・沿線事業所・学校・転入者等に対するモビリティ・マネジメント、社会実験等の実施を図る

3.6 客観的な効果検証を実施する仕組みの構築支援

(1) PDCAサイクル構築の支援

宇陀市総合戦略を推進するためには、施策の実施状況及び目標の達成状況を定期的に把握し、計画の進捗状況を評価し、その結果に基づき改善を行い、さらに改善に基づき施策を見直す「PDCAサイクル」を構築し、適切に運用することが必要である。

特に、宇陀市総合戦略より設定される数値目標については、評価プロセスにおいて設定目標の適切性、数値の客観性と妥当性を検証し、場合によっては設定自体を見直すことにより、形骸化しないようにすることが重要になる。



図ー 6 宇陀市総合戦略PDCAサイクル

参考資料 住民アンケートの整理概要

(1) 「しごと」に関するアンケートの概要

<アンケートを踏まえた住民のニーズ及び必要と考える主な施策>

「しごと」に関する 政策パッケージ	アンケートから 得られた主なニーズ	必要と考える主な施策
1. 基幹産業である農林業 の再生・活性化	農林業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 宇陀の特産物のブランド化 ➤ 耕作放棄地の活用 ➤ 農業を希望する若者への支援 ➤ 林業振興
2. 地域資源を活かした観 光戦略	宇陀市の地域資源による 観光地の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自然の良さを活かした観光産業の アピール ➤ 街おこしイベント等を活用した宇 陀市の知名度向上 ➤ メディアに取り上げられるような 施策・イベントの実施
3. 地場産業等への支援に よる仕事づくり	企業誘致・仕事創生	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 企業誘致と減税対策 ➤ 工業団地の建設 ➤ 大企業の誘致、研究所等の建設地 としての立候補 ➤ 市の施設の民間委託
	市内産業の支援	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内産業への支援

<1. 基幹産業である農林業の再生・活性化>

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ <u>宇陀市の特産物作り (地域ブランド化)</u> 。	
・ 農業に力を入れた、 <u>特産品</u> の作成。	
・ <u>宇陀市の土地柄にあった野菜</u> 等の作成。	
・ <u>耕作放棄地 (眠っている土地)</u> の活用。	
・ <u>農業を希望する若者へのIターンの促進</u> 。住居の世話等も含めた総合的に支援をすることを条件に全国 (特に農業の学校等) からIターン希望者を募集。	
・ <u>林業振興</u> 。	等

< 2. 地域資源を活かした観光戦略 >

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ <u>自然の良さ</u> を伝えるような、サービス業等の充実。	
・ <u>観光産業</u> 等で魅力ある街であることのアピール。	
・ <u>街おこしイベント</u> や <u>地域特産品</u> をアピールした、 <u>宇陀市の知名度アップ</u> 。	
・ <u>観光事業</u> の強化。	
・ <u>観光</u> に力を入れたイベント、行事等の開催。	
・ 宇陀にある <u>歴史・文化のポテンシャル</u> の <u>twitter 等の SNS</u> での積極的な発信。	
・ 「 <u>奈良カエデの郷ひらら</u> 」のような、古い建物を利用した、ママ&子供、お老よりたちが楽しめるイベントの開催。またその発信。	
・ 宇陀市が魅力的な町であることの <u>PR</u> 。	
・ 何か1つでも <u>メディアに大きく取りあげられるような施策・イベント</u> の実施。	
・ 宇陀市は良い所が沢山あるのにあまり知られていない様な気がする。 <u>古い歴史</u> と <u>素晴らしい自然環境</u> に恵まれた宇陀市をアピールした観光誘致が重要。	等

< 3. 地場産業等への支援による仕事づくり >

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ <u>企業誘致</u> と <u>減税対策</u> 。	
・ <u>工業団地の建設</u> や <u>IT企業の転入</u> 。	
・ <u>大企業の研究所</u> 等を作って頂く場所としての立候補等。	
・ <u>宇陀市グルメ</u> を公募し、各地アンテナショップ、道の駅での展開。	
・ 宇陀市内での <u>就職先</u> の拡充。	
・ 通勤圏内の就職情報の <u>新聞折り込み</u> 、 <u>うだちゃんTV</u> での積極的な周知。	
・ 市の施設を <u>民間に運営委託</u> 。	
・ 市内産業への <u>雇用助成金</u> の拡充。	等

(2) 「ひと」に関するアンケートの概要

<アンケートを踏まえた住民のニーズ及び必要と考える主な施策>

「ひと」に関する 政策パッケージ	アンケートから 得られた主なニーズ	必要と考える主な施策
1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進	定住者・移住者確保	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Uターン就職の斡旋 ➤ Iターン者への安価での住宅提供 ➤ 若い世代の住宅補助 ➤ 育児をしながら仕事をする女性をサポートできるような環境作り ➤ 宇陀市の魅力のPR
2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	助成金	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 出産費用の無償支給 ➤ 3人目以降の子供手当の増額
	地域ぐるみの子育て支援・青少年育成活動	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域全体での子育ての支援 ➤ 子どものためのイベントの企画
	保育所に預ける時間の長時間化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 保育園の保育時間の延長 ➤ 学童保育の充実
3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 英語教育の充実 ➤ 地産地消の充実 ➤ 自然を活かした教育の充実

<1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進>

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

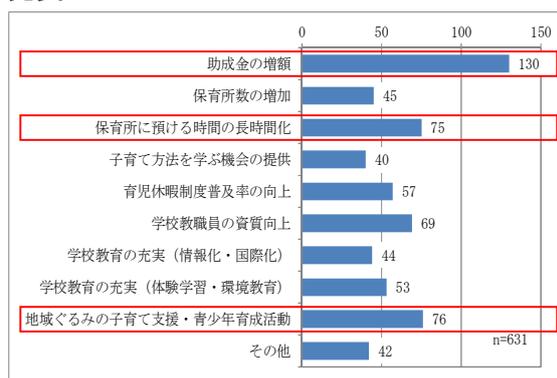
表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)
・ <u>U・Iターンなどの人への給配金</u> など。
・ 農業を希望する若者もいる。そのような若者への <u>Iターンの促進</u> 。
・ <u>住宅購入等に係る補助制度</u> や土地の無償貸与による定住者確保
・ <u>女性が働きやすい環境</u> の整備
・ <u>宇陀市の良い所を全国にもっとアピール</u> し少しでも若い人達を移住し、永住できるようにする。
・ <u>魅力的な町であることをPR</u> 。
・ <u>移住者支援を充実させてPR</u> もすれば田舎が好きな若者は入ってくると思う。その為に地元の <u>人とつながれる機会の創出、空き家・仕事の紹介</u> が必要。 等

< 2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 >

宇陀市では、子育て環境について、「助成金の増額」「地域ぐるみでの子育て支援・青少年育成活動」「保育所に預ける時間の長時間化」が重要であるという意見が多い。

図 宇陀市に求める子育て環境



また、アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて

(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ <u>出産費用の無償支給</u> が必要。	
・ <u>3人目の子供から子供手当を増額</u> 。(現状よりももっと多く)	
・ <u>高齢者や子ども等年齢を問わず集える施設 (集会場) のような物の建設</u> 、地域の人への開放。たたみの部屋でお昼寝し、 <u>喫茶コーナーでお茶</u> することによる、地域全体での <u>情報交換</u> や <u>高齢者・子どもの見守り</u> の実施。	
・ もっと子育てしてよかった~と思えるような、 <u>子どものためのイベント</u> などの企画。	
・ <u>保育園の保育時間の延長</u> や <u>学童保育の充実</u> が必要。	
・ <u>保育所の時間が短い</u> 。保育時間が短いと、働く子育て世代の家族は、自然豊かな所で子供を育てたくても条件的に宇陀市に住むことは困難。	等

< 3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実 >

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて

(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ <u>小学校から本格的な英語教育に取り組んでいる (実用性の良い教育プログラム) こと</u> 、 <u>給食甲子園出場</u> 等、もっとPRすることが重要。	
・ <u>地産地消の充実</u> 。	
・ 教育環境も <u>自然や風土を活かした、もっと特化した教育の実践</u> 。(例えば、校舎を持たない「鳥取県 まるたんぼう」のような、山の幼稚園のようなもの 等)	
・ <u>都会では経験できないような、自然の中での学習</u> 。	等

(3) 「まち」に関するアンケートの概要

<アンケートを踏まえた住民のニーズ及び必要と考える主な施策>

「まち」に関する 政策パッケージ	アンケートから 得られた主なニーズ	必要と考える主な施策
1. 地域連携の強化	高齢者の就業支援	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高齢者への働く場所の提供 ➤ 地域ぐるみで高齢者が子育てをできる環境の整備
	地域での高齢者の交流・見守り支援	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高齢者を見守る制度の策定 ➤ 高齢者がコミュニケーションをとる場の創出
2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現	健康増進 医療・介護・福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 健康寿命の増進及びそのアピール ➤ 医療・介護・福祉の充実 ➤ 高齢者向けの施設等の充実 ➤ 地域間連携
3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現	公共交通空白地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> ➤ コミュニティバスの充実 ➤ 送迎バスの導入
	観光地等の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 駅・道の駅の活性化 ➤ 室生方面への交通網の強化

<1. 地域連携の強化>

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)
・ 高齢者に仕事をしてもらふことによる、 高齢者の収入増及び市の税収増。
・ リタイア後の高齢者の就業支援の場とした 地域ぐるみで子育てのできる環境の整備。 高齢化を逆手にとった施策が重要。
・ 高齢者への仕事の提供。
・ シルバー人材による 子どもの一時あずかり制度の特例認可。
・ 高齢者が働ける場所を作るための 定年制や再雇用の年齢の引き上げ。 高齢者人口が多い地域ならではの制度の導入。
・ 1人住まいの老人を見守る制度の策定。 (それによる雇用創出。)
・ 高齢者のためのコミュニティ活動。
・ 高齢者や子ども等年齢を問わず集える施設(集会場)のような建物の建設。地域の人への開放。
・ 福祉ゾーン等、保育園、老人ホーム、病院、公園などが一帯となる場所の創出。 等

< 2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現 >

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ 大学、企業と連携した、 <u>高齢者の健康寿命の増進を目的としたモデル地区</u> としての宇陀市のアピール。	
・ <u>宇陀市内での病院</u> (小児科、産婦人科) の増設。	
・ 宇陀市内に <u>救急対応の病院がない</u> のが不安。(桜井方面に搬送されるのをよく見るため)	
・ <u>地域医療の充実</u> とそれに関連する <u>雇用の拡大</u> 。	
・ <u>医療・福祉の充実</u> 。	
・ <u>宇陀市内での医療環境充実と自立</u> 。	
・ <u>高齢者向けの施設やサービスの充実</u> 。また、 <u>同施設・サービスのための雇用創出</u> 。	
・ 宇賀志小学校などの <u>廃校になった校舎の有効活用</u> 。老人ホームやデイサービス施設の創設による、 <u>高齢者の生活の満足度向上、仕事の創出</u> 。	
・ 宇陀市の土地を有効活用した、 <u>福祉(高齢者)施設の誘致</u> 。	
・ 地域で高齢者を見守る、 <u>「認知症患者を守る、防ぐ」ための地域間連携</u> 。	等

< 3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現 >

アンケートから得られた意見の一部を以下に示す。

表 人口減少・高齢化の進展に対して、宇陀市にとって必要と考える取り組みについて
(主な意見の抜粋)

アンケートから得られた主な意見 (抜粋)	
・ 公共交通が通っていない地域における <u>送迎バス</u> の運行。	
・ 公共交通不便地域における、 <u>格安での送迎</u> の実施。	
・ <u>小型のバス</u> の増便。	
・ <u>コミュニティバス</u> 等、 <u>交通機関の充実</u> 。	
・ <u>山間部などへの転居者の増加に向けた交通の整備</u> 。	
・ “田舎暮らし”をすすめるための、 <u>高齢者の足(交通)の確保</u> 。	
・ 道の駅など他県の方たちが <u>立ち寄る場所の活性化、アピール</u> 。	
・ <u>駅や道の駅活性</u> 。	
・ 夜間、観光地(室生など)が真っ暗。 <u>イメージが「暗い」ことの解消</u> 。	
・ <u>室生方面へのバスの運行</u> 。公のサービスの充実。	等

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年（2015 年）12 月

編集発行 宇陀市企画財政部企画課

〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足 17 番地の 3

電話 0745-82-1362 FAX 0745-82-3900
